

2006 年度

科目名 博物館学Ⅲ（経営情報論）	対象学科・学年 文学部日文 2 回生 教育教福 2 回生 文学部英米 2 回生 人間人社 2 回生 文学部教福 2 回生 文学部文財 2 回生 文学部コミ 2 回生	担当者 吉原 忠雄
授業テーマ 博物館の経営・情報についての現状を知り、博物館の将来のあり方を考える。		
授業の概要と目標 日本が成熟社会になるにしたがって、近年、多数の多様な博物館が設立され、また、生涯学習化と情報化の進展に伴い、情報発信・運営は博物館にとって、ますます重要になってきている。これらの状況を知り、将来の博物館のあり方を考える。主として、人文系博物館について話をする。		
評価方法 出席を重視する。レポートの提出を求める。出席点 20%、レポート点 80%		
テキスト 『概説 博物館学』	著者 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編	出版社 芙蓉書房出版
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 博物館経営論（1）博物館の経営と組織（1） 2 博物館経営論（2）博物館の経営と組織（2） 3 博物館経営論（3）博物館の施設・活動（1） 4 博物館経営論（4）博物館の施設・活動（2） 5 博物館経営論（5）博物館の施設・活動（3） 6 博物館経営論（6）博物館の施設・活動（4） 7 博物館経営論（7）博物館の施設・活動（5） 8 博物館経営論（8）博物館経営の実際（1） 9 博物館経営論（9）博物館経営の実際（2） 10 博物館経営論（10）博物館経営の実際（3） 11 博物館情報論（1）博物館と情報（1） 12 博物館情報論（2）博物館と情報（2） 13 博物館情報論（3）博物館活動における情報（1） 14 博物館情報論（4）博物館と情報機器・情報環境（2） 15 まとめ		